

●障害者福祉施策との有機的な連携

足で稼ぐ信頼と顔が見えるネットワーク

ハローワーク渋谷(東京労働局)専門援助第二部門 統括職業指導官

田口勝美

障害者の福祉政策については、これまでの保護を中心とした考え方から、自立支援に向けた考え方へと転換が図られ、雇用政策にお

いても、福祉施設等を利用する障害者の一般就労への移行を促進することが喫緊の課題となつていますが、現状では、施設等から一般

就労へ移行する割合は極めて少ない状況にあります。そこで、福祉施設等を利用する障害者が一

図1

担当者	役割	
事業責任者	職業相談部長	事業の全体的な調整、総括
事業実施リーダー	専門援助第2部門統括職業指導官	事業周知、関係機関との連携、進行管理
事業実施者	障害者就労支援コーディネーター	支援チームによる支援の実施、企業との連携
	障害者就労支援協力員	支援対象者の情報収集、状況把握
	上席職業指導官	受入れ先の開拓、情報提供
	職業指導官	支援メニューの提供、職業相談

人でも多く就職ができて、定着が図られるようハローワークが中心となってチームによる一連の支援を行うことを目的とした「地域障害者就労支援事業」が平成17年度、全国10カ所のハローワークで試行的に実施され、東京では渋谷所が指定を受けました。

所内体制の整備

本事業を実施するにあたり、渋谷所としての体制を整えることから始めました(図1)。担当と役割を明確にし、取り組みについては随時ミーティングを行います。

行い、リーダー・責任者が情報を把握、毎月
の状況を所長へ報告するという基本スタイル
を整備しました。

まずは知ることから

支援事業を始める際、やみくもに活動しても
成果(信頼)は得られませんので、把握し
ておかなければならないポイントを次の3つ

図2

福祉施設等名称		種別		
〇〇〇〇〇〇〇〇		精神障害者		
所在地	△△△△町△△△△			
交通手段	△△△△ 徒歩10分			
電話	〇〇〇〇-〇〇〇〇			
FAX	〇〇〇〇-〇〇〇〇			
施設長等	〇〇〇〇			
設置法人等	障害者支援委員会			
開設	1985年12月			
対象地域	原則 △△△△			
定員数	20名			
利用時間	9:00~17:00			
休日	土・日・祝			
作業・訓練内容	・ゴルフボールのラック詰め ①パック20円・DH ・オスティング・シール貼り			
地域との交流	有。別紙行事予定表			
家族会等の状況				
スタッフ体制	常勤職員	4名	非常勤・その他	ヘルパー
	介護福祉士		社会福祉士	介護支援専門員
	医師		看護師	保健師
他の支援機関との連携	△△△△区就労支援センターで、1人訓練実施したが、不調に終わり、その後は			
利用者の状況	現在の利用人数	男性 19	手帳取得者	8割
		女性 9	就職経験のある者	
利用者の状況	年齢層	10代 2	20代 2	30代 7
		40代 8	50代 8	60以上 3
ヒアリング	一般就労移行への施設長等の考え	現在28人の定員があり、常時12~15人は満所して作業している。そういう人も2人はいらる。1人は単身、1人は同居。就職へ向けた取り合いが、就労希望者については、援助したいと考えている。		
	ハローワークへの要望	職安は行きづらい、怖いというイメージがあり、なかなか足を運ばずとして、4~5人による職業見学のことが出来ればと思う。		
ヒアリング	初回訪問日	17.6.16(木) 〇〇-〇〇		
	訪問者	マンションの1室に14~15人がひしめて作業しており、第一印象は悪く、参加者が少ない。また、参加者のうち、第一に一定の仕事があるわけではない。参加者のほとんどは生活保護受給者であり、中途退社に就いても、トータルで収入減になる。就労支援関係機関とは、あまり連携はなく、ハローワークとのつながりに興味を示してくれ		
訪問日	〇〇〇〇〇〇より、利用者への就労ガイダンスをしてほしい旨が、就労センター「△△△」と連携し、ガイダンス実施。			
訪問者	〇〇			
参加者	〇〇			

地域に密着している生活・就労支援機関、保

動く・その1
一人の支援対象者を就職に導くまでのプロセスとして、就労準備、仕事探し、就職、フォロー(定着)の各ステップで利用可能な社会資源や連携できるネットワークを把握することが必要です。この把握も、紙ベースでの情報収集では実効あるものにはならないと考え、とにかく足を運ぶことにしました。

国の関係機関や各区福祉関係課をはじめ、訪問時には、施設の規模や職員体制、利用

動く・その1

- ① 就労支援を行うための利用できる社会資源を知る。
- ② 施設等(授産施設・小規模作業所等)の性格、目的、利用者状況を知る。
- ③ 管内地域の既存の就労支援ネットワークを知る。

動く・その2

福祉施設等から一般就労を目指す支援事業であるわけですが、その福祉施設とはどういうものなのかは漠然としたイメージしかありませんでした。そこで、管内地域には施設がどれだけあるのか、施設の特徴は? 利用目的は? これも施設ガイドや人のうわさだけでは見えてきませんので足を運ぶのが一番と考えました。